



唐津・口之津海上技術学校生及び九州・山口水産系高等学校生を対象とした

# 船員職業意識調査報告書

平成 27 年 1 月

公益財団法人 九州運輸振興センター  
九州海事産業次世代人材育成推進協議会

# 目 次

## 1. アンケート調査の概要

① 調査の目的	1
② 調査の方法	1
③ 回答者の学校別・学年別内訳	1
④ 年齢別構成・男女別構成・出身県別構成	2
⑤ 家族に船員がいる生徒の割合	2
⑥ 家族に船員がいる生徒数の県別比較(全体)	3

## 2. 卒業後の進路について

① 卒業後の進路:学校別	3
② 卒業後の進路(出身県別)	4
③ 船員を志望する生徒の船種別希望状況	4

## 3. 見学会等イベントへの参加状況及び効果

① イベントへの参加状況	5
② 「ある」と答えた生徒の出身県	5
③ イベント参加時の学年分布状況	6
④ イベントへの参加形態	6
⑤ 参加イベントの内容	7
⑥-1 本校入学への影響	7
⑥-2 「大いに影響」と答えた生徒のイベント参加形態とイベントの内容	8

## 4. 本校入学時の意識について

①-1 入学の動機(学校別)	9
①-2 入学の動機(家族に船員がいる生徒、いない生徒の比較)	9
② 学校情報の入手先(学校別)	10
③-1 入学時点での船員への魅力・興味の有無(学校別)	10
③-2 魅力・興味の有無による進路比較(学校別)	10
④ 魅力・興味の内容	11
⑤ 魅力・興味をもった時期(学年別)	11
⑥ 魅力・興味を持ったきっかけ	12
⑦ 魅力・興味を感じない生徒の理由(学校別)	12

(参考)アンケート様式	13~14
-------------	-------

## 1. アンケート調査の概要

### ① 調査の目的

九州・山口地域における海事産業次世代人材育成の取組が、開始後6年を経過するなかにあつて、これまでの活動の成果について検証する必要とともに、この間の海事産業界における人材不足の課題、特に内航船員の確保がより深刻化した課題となっていることから、実際に船員を養成する学校である「海上技術学校」や「水産系高校」に入学した生徒が、どのような考え方を持って入学し、その考え方がどのようにして形成されたのか等を把握し、今後の協議会の活動方針に反映していくことを目的として実施したものである。

### ② 調査の方法

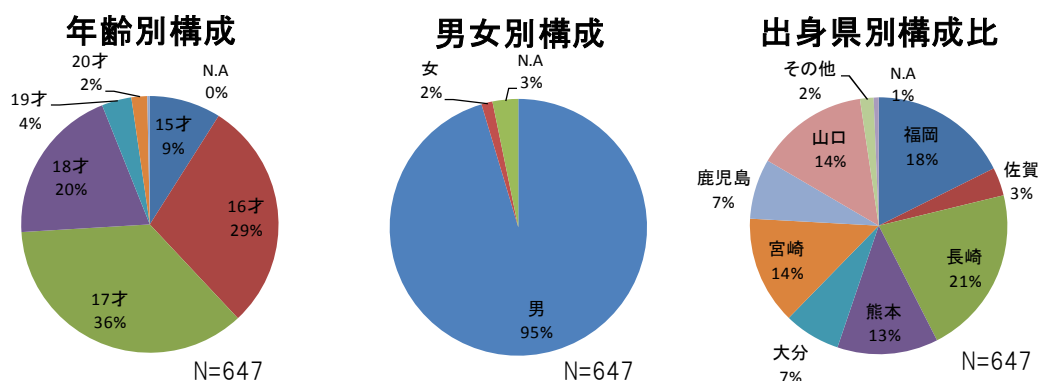
事前に海上技術学校(唐津、口之津)2校、九州・山口内の水産系高等学校7校の担当教員に協力を依頼のうえ、平成26年9月1日～11月30日の間、各学校のホームルームの時間等を活用して実施。手法は各学校の判断に委ね、記載時間は概ね15分程度を目安とした。(アンケートの様式は末尾添付)

### ③ 回答者の学校別・学年別内訳

学校名	1学年	2学年	3学年	専攻科1年	専攻科2年	合計
国立唐津海上技術学校	38	41	39	—	—	118
国立口之津海上技術学校	32	31	33	—	—	96
福岡県立水産高等学校	—	29	30	10	1	70
長崎県立鶴洋高等学校	—	31	29	—	—	60
熊本県立苓洋高等学校	9	16	16	—	—	41
大分県立津久見高等学校 海洋科学校	—	19	22	—	5	46
宮崎県立宮崎海洋高等学校	—	42	41	—	—	83
鹿児島県立鹿児島水産高等学校	—	10	23	—	9	42
山口県立大津緑洋高等学校	29	21	26	10	5	92
合計9校	108	240	259	20	20	647

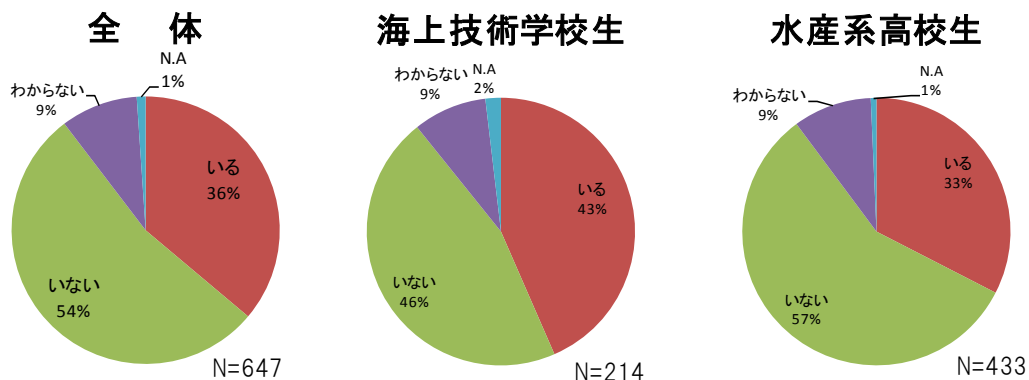
※ 647名(回収数)÷735名(在校生総数)=0.88 回収率88%

### ③ 年齢別構成・男女別構成・出身県別構成



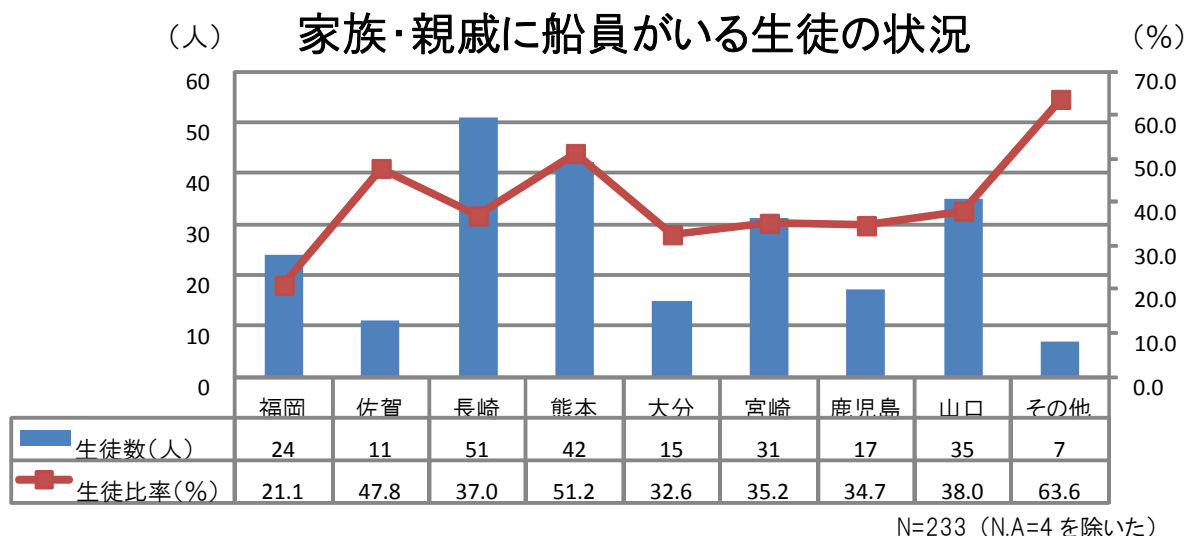
- 年齢別では、高校2～3年生が中心であるため、16才～18才で85%を占めている。
- 男女別では、95%が男子で、女子は実数で9人、2%となっている。
- 出身県別では、九州・山口圏内で97%を占め、圏外は実数で11人、2%となっている。

### ④ 家族・親戚に船員がいる生徒の割合



- 全体・学校別とも、「いる」と答えた生徒は半数未満。
- 学校別比較では、海上技術学校生の方が水産系高校生より「いる」生徒の割合が高い。
- 船員数/職業別2人以上世帯数(H22d国勢調査) 6.9万人/2,520万世帯=0.27% からすると家族・親戚に船員のいる割合はかなり高い。

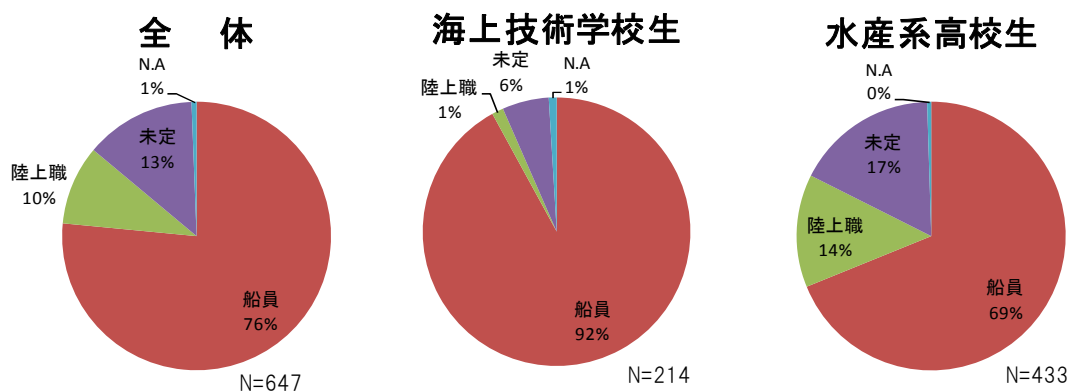
⑤ 家族・親戚に船員がいる生徒数の県別比較(全体)



- 家族・親戚に船員がいると答えた生徒数は、長崎県が最も多く、熊本県、山口県、宮崎県と続く。
- 生徒数では、福岡県は、長崎県に次いで多いが、家族・親戚に船員がいる割合は最も低い。
- 家族・親戚に船員がいる生徒の割合は、その他(九州・山口以外)の生徒が最も高く、熊本県、佐賀県と続く。

2. 卒業後の進路について

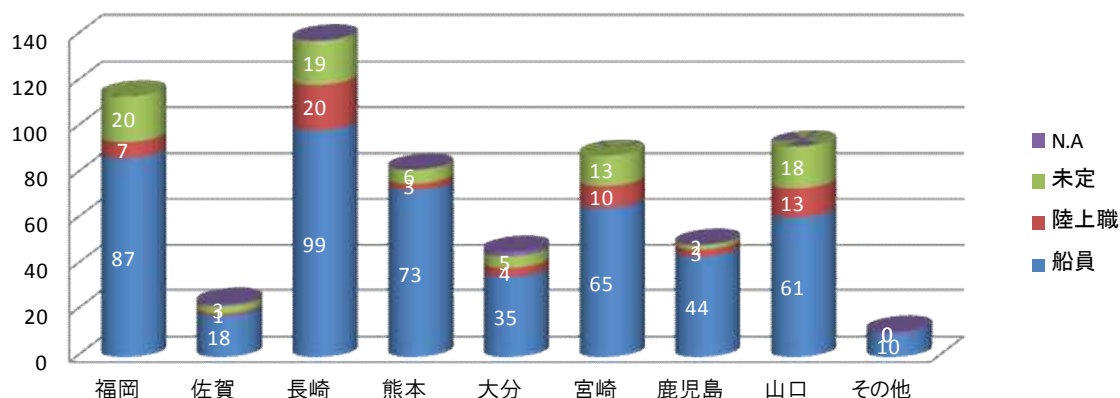
① 卒業後の進路:学校別



- 全体の76%が船員を志望しており、海上技術学校生の船員志望率が高い。
- 陸上職志望者は、水産系高校生が中心で、職種としては、造船所(12名)、進学(8名)、自衛隊(7名)、機械関係(5名)の順になっている。

② 卒業後の進路(出身県別)

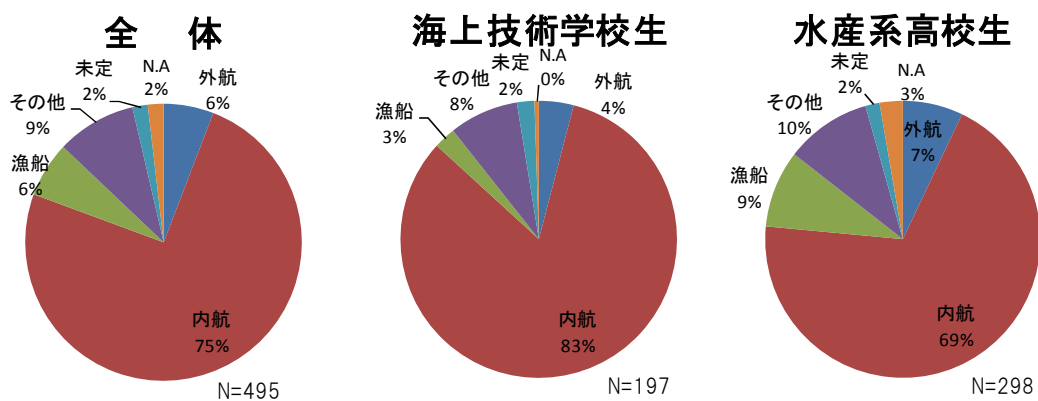
出身県別進路別人数



N=647

- 船員志望者数は、県別生徒数の多い長崎県が最も多く、福岡県、熊本県と続く。
- 船員を志望する生徒の割合では、鹿児島県及び熊本県の出身者が特に高い。

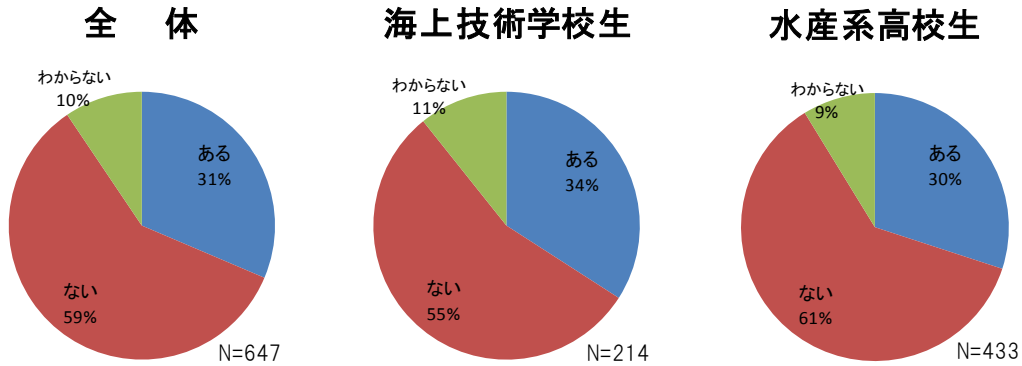
③ 船員を志望する生徒の船種別希望状況



- 就職志望先は、海上技術学校、水産系高校ともに内航海運が圧倒的に多く、全体の75%。
- 海上技術学校生の方が、内航志望者が多い。
- 水産系高校生の方が、漁船志望者が多い。

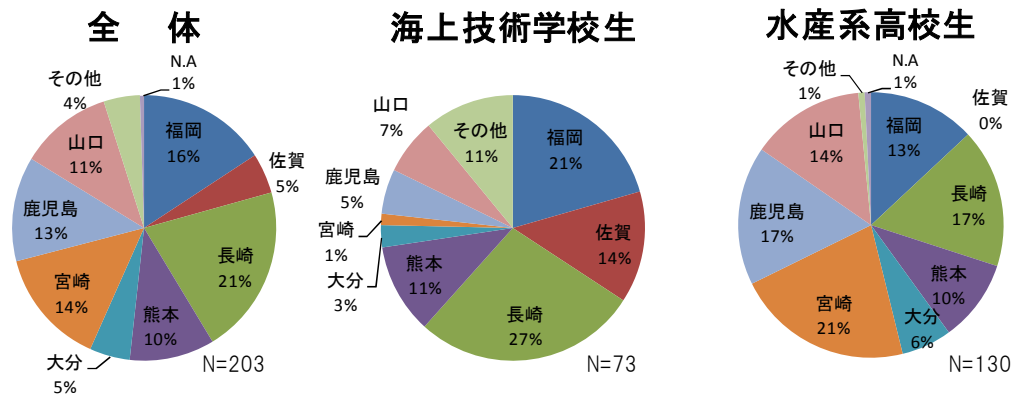
### 3. 見学会等イベントへの参加状況及び効果

#### ① イベントへの参加状況



- 海上技術学校と水産系高校で大きな差異はなく、「ある」と答えたのは全体の31%。
- 海事イベントだけで、参加経験者31%はかなり高い。

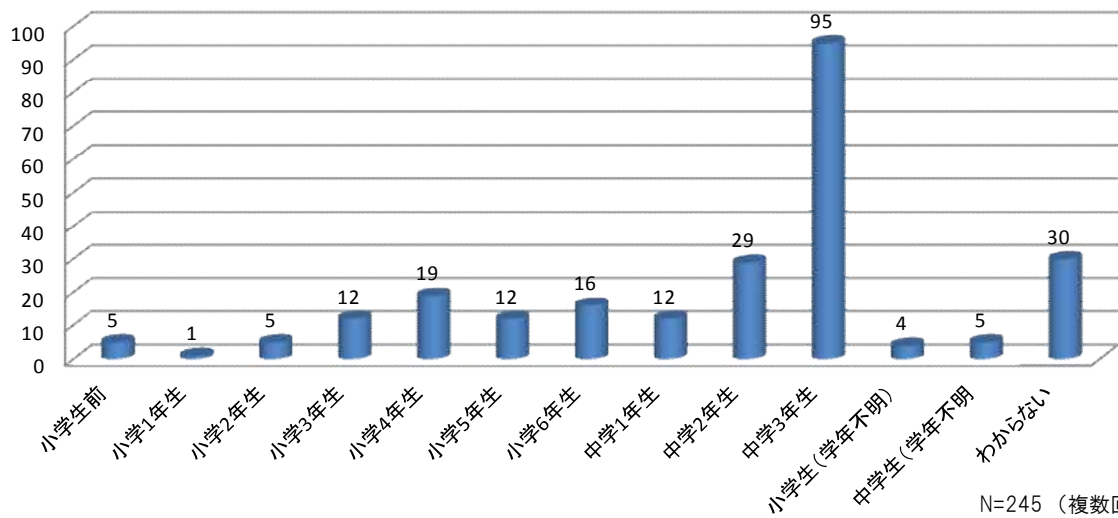
#### ② 「ある」と答えた生徒の出身県



- 全体では、長崎県、福岡県出身者が多く、宮崎県、鹿児島県、山口県、熊本県と続く。
- 海上技術学校では、学校のある北部九州3県(福岡県、佐賀県、長崎県)が多い。
- 水産系高校では、宮崎県が多く、学校のない佐賀県が0%であるほか、熊本県、大分県が少ない。

### ③ イベント参加時の学年分布状況

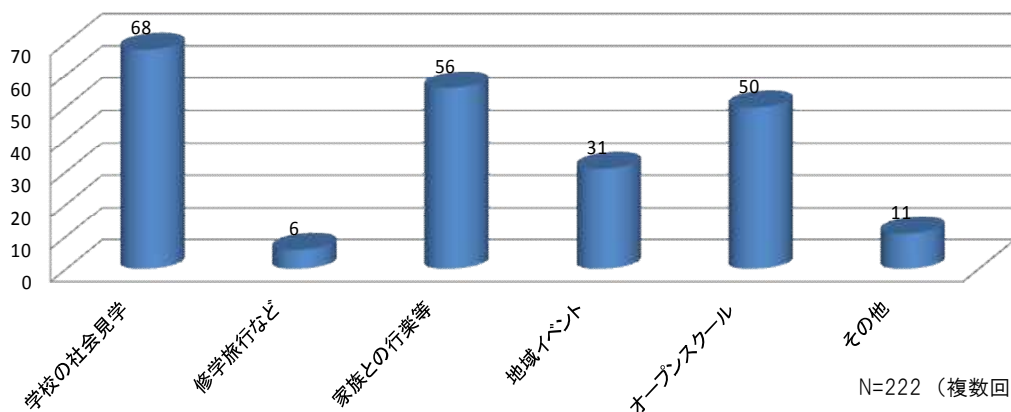
#### イベント参加時の学年分布



- イベントへの参加時期としては、中学3年生が最も多い。
- これは進路選択期を迎え、オープンスクールなどへの参加が増えることが原因と考えられる。
- 年代別では、小学校低学年→小学校高学年→中学校と増加する傾向にある。
- 学年の進級とともに、社会への関心や社会見学の機会が増えることなどが要因と考えられる。

### ④ イベントへの参加形態

#### イベントへの参加形態

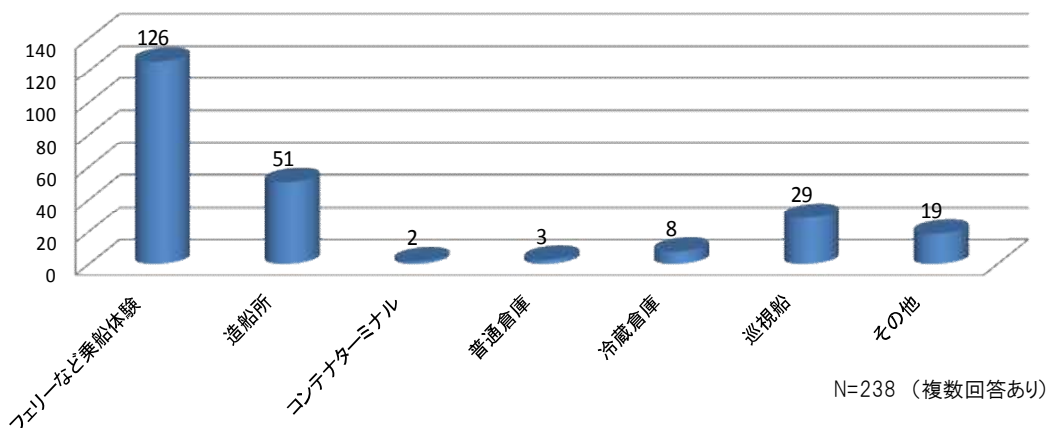


- イベントへの参加は、学校の社会見学が最も多く、家族との行楽、オープンスクールの参加と続く。
- 修学旅行などの旅先での参加は最も少ない。
- その他の内容としては、家業での体験4人、友人の家業での体験2人、ボーイスカウトでの体験、海上技術学校の文化祭などで各1件。



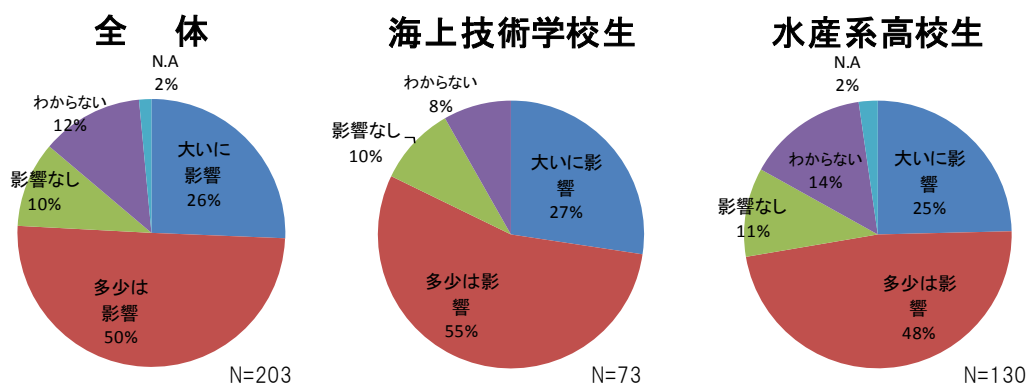
## ⑤ 参加イベントの内容

### 参加イベントの内容



- フェリーなどでの乗船体験を挙げる生徒が最も多く、この中にはオープンスクールでの実習船の乗船体験が含まれている。
- 次に造船所や巡視船の見学が多いが、コンテナターミナルや倉庫を挙げた生徒は極めて少ない。
- その他の内訳としては、漁業体験 6 人、自衛艦 5 人、練習船 4 人など全てが乗船体験など。

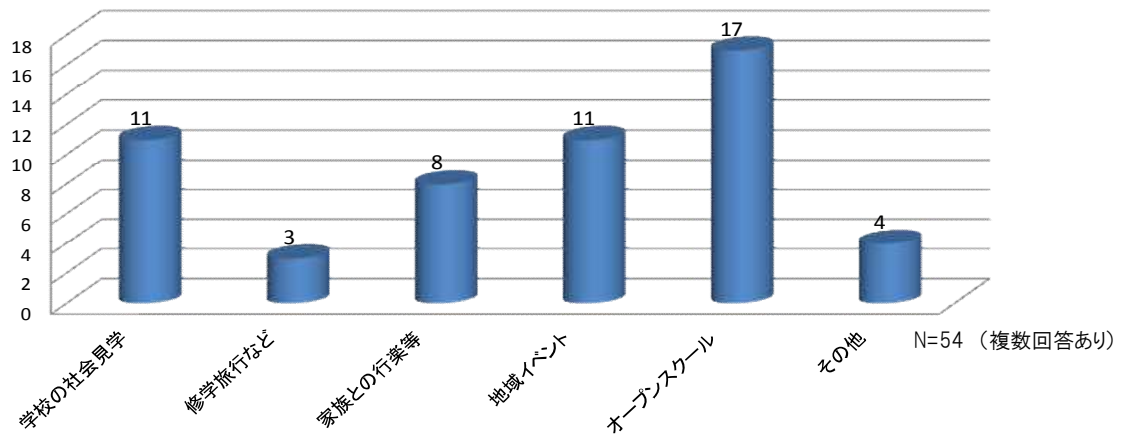
## ⑥-1 本校入学への影響



- 体験したイベントについて、全体で76%の生徒が本校入学に影響したと答えている。

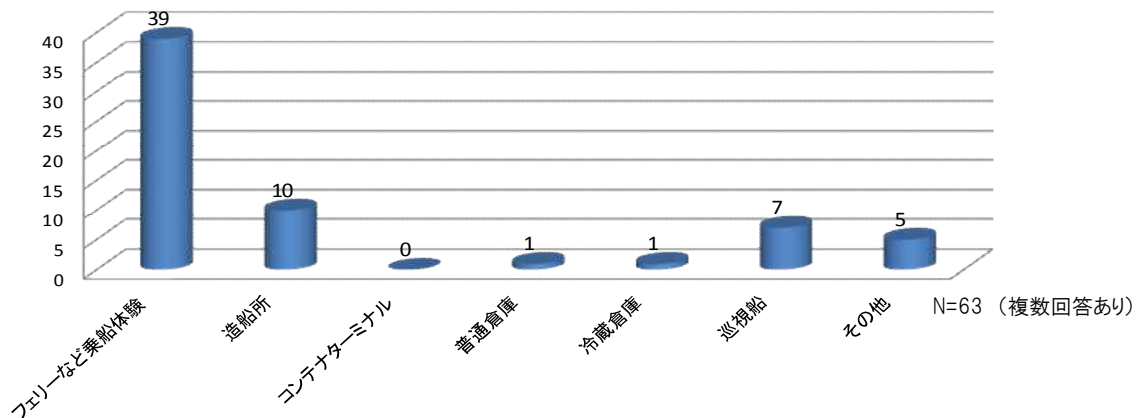
⑥-2 大いに影響と答えた生徒のイベント参加形態とイベントの内容

大いに影響と答えた生徒のイベント参加形態



- 「大いに影響」と答えた生徒(52名)のイベント参加形態では、オープンスクールが最も多い。

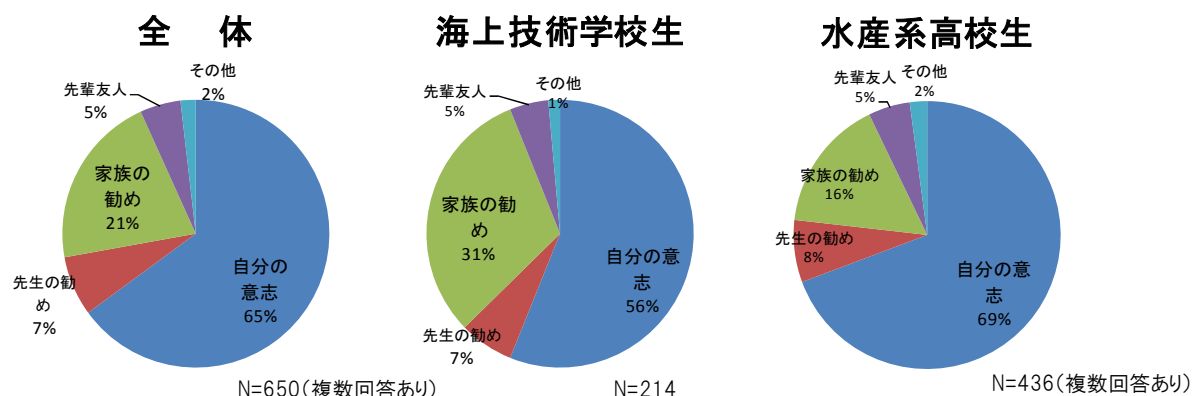
大いに影響と答えた生徒のイベント内容



- 「大いに影響」と答えたイベントの内容では、乗船体験が突出し、オープンスクールでの乗船体験もこれに含まれる。
- 造船所の見学が、2番目に影響を与えているものの、造船を目指す学校が身近にないなどから、本校入学に影響を与えたものと考えられる。

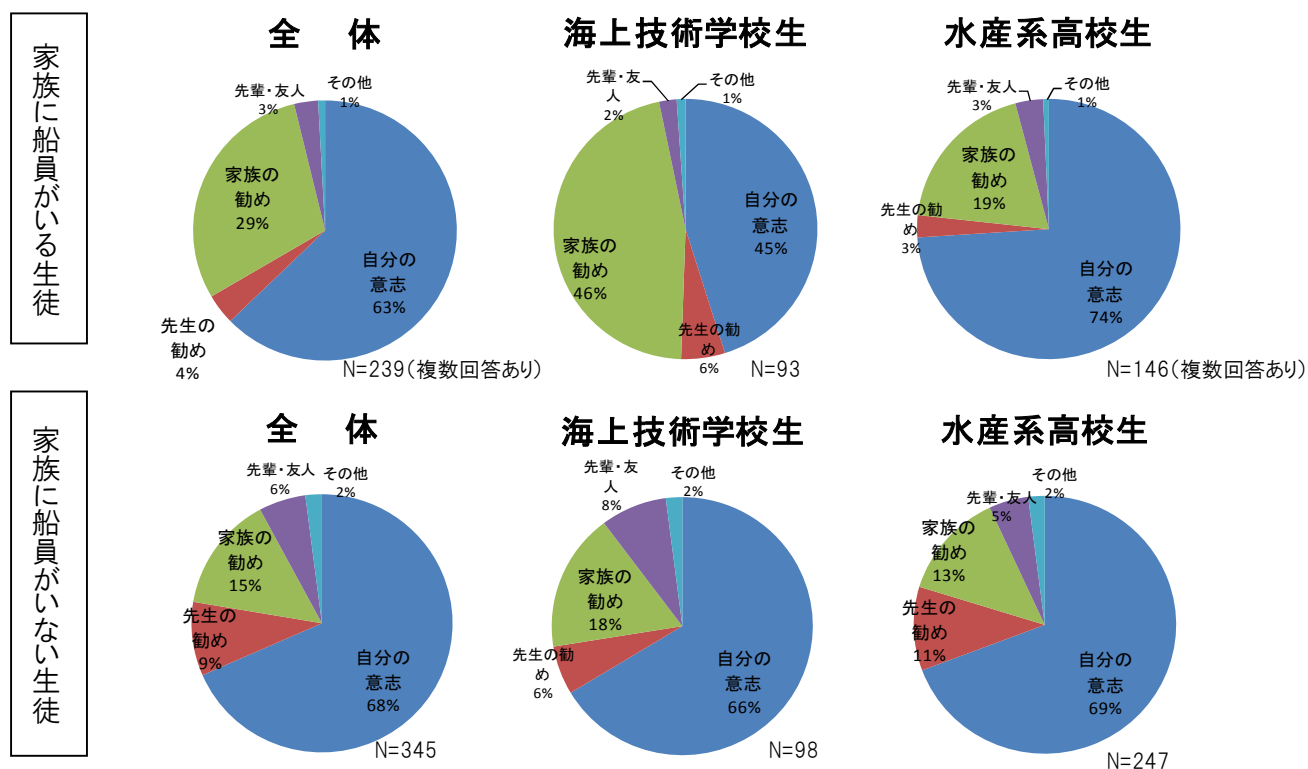
## 4. 本校入学時の意識について

### ①-1 入学の動機(学校別)



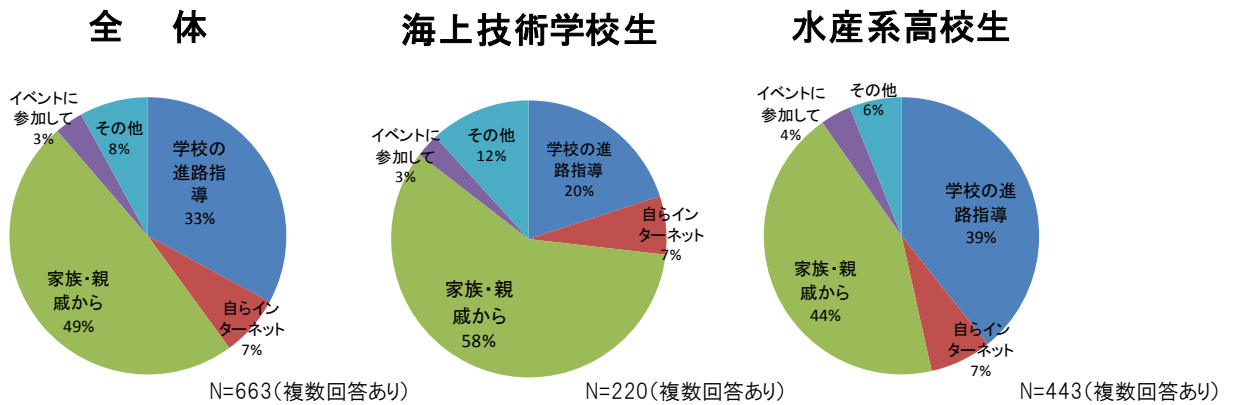
- 半数以上が自分の意志で入学を決定しており、家族の勧め、先生の勧め、先輩友人の勧めと続く。
- 海上技術学校生については、家族の勧めが比較的高い。
- その他の動機としては、「友達がいたから」、「近いし就職率100%」、「なんとなく」、「行きたいところがあった」等

### ①-2 入学の動機(家族に船員がいる生徒、いない生徒の比較)



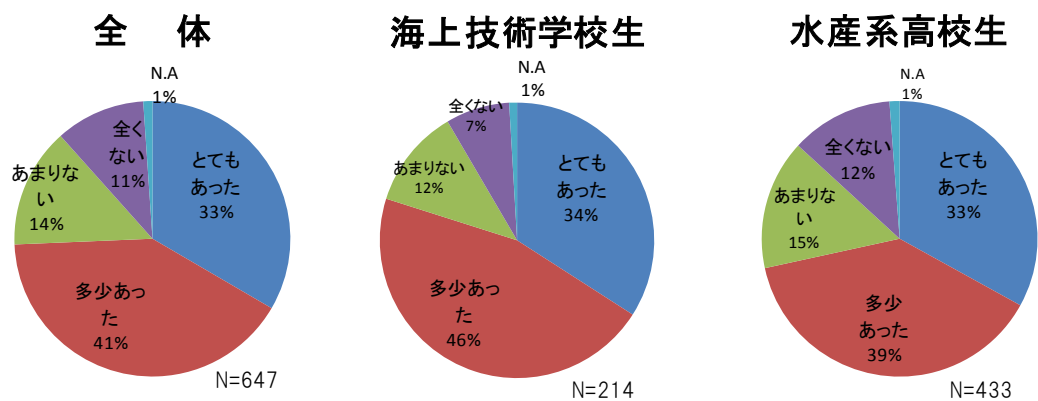
- 家族に船員がいる生徒では、「家族の勧め」の割合が高く、特に海上技術学校生では顕著。
- 家族に船員がいない生徒では、相対的に「先生の勧め」の割合が高く、特に水産系高校生では顕著。

② 学校情報の入手先(学校別)



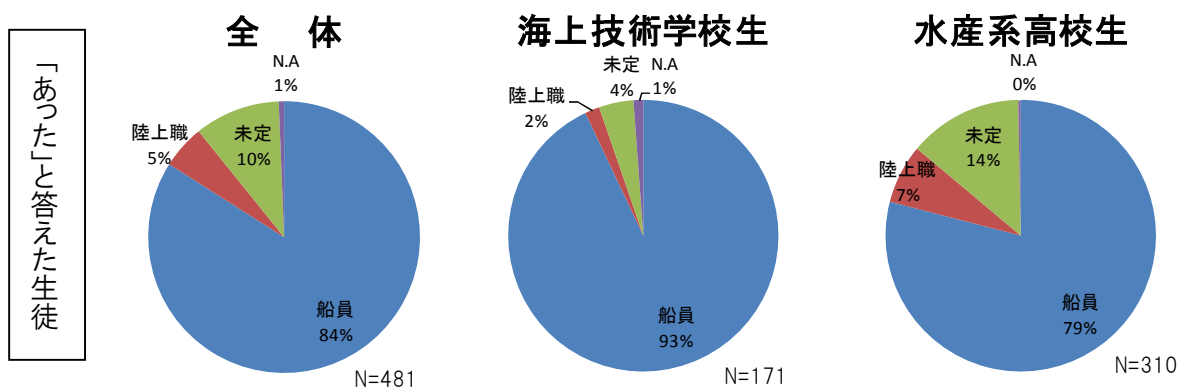
- 全体の半数が、学校情報を家族・親戚から得ており、海上技術学校生において、その割合が高い。
- 全体の1/3が学校の進路指導で得ており、水産系高校生において、その割合が高い。
- その他の内訳は、先輩・友人が21人、テレビ・新聞が6人、ポスター・パンフレットが6人、地元だから5人など。

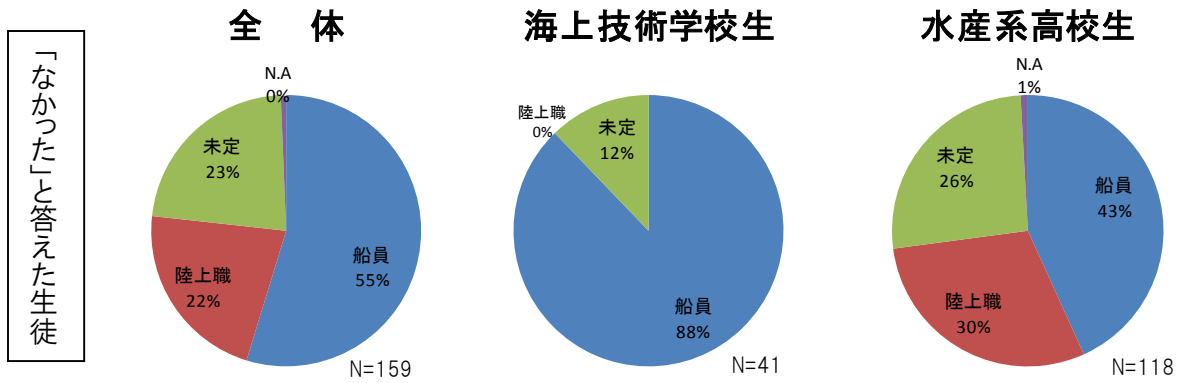
③-1 入学時点での船員への魅力・興味の有無(学校別)



- 海上技術学校生において、やや魅力・興味をもつ生徒の割合が高いが、ほぼ似たような傾向。
- 全体の1/4の生徒が、魅力・興味を持たないで入学している。

③-2 魅力・興味の有無による進路比較(学校別)

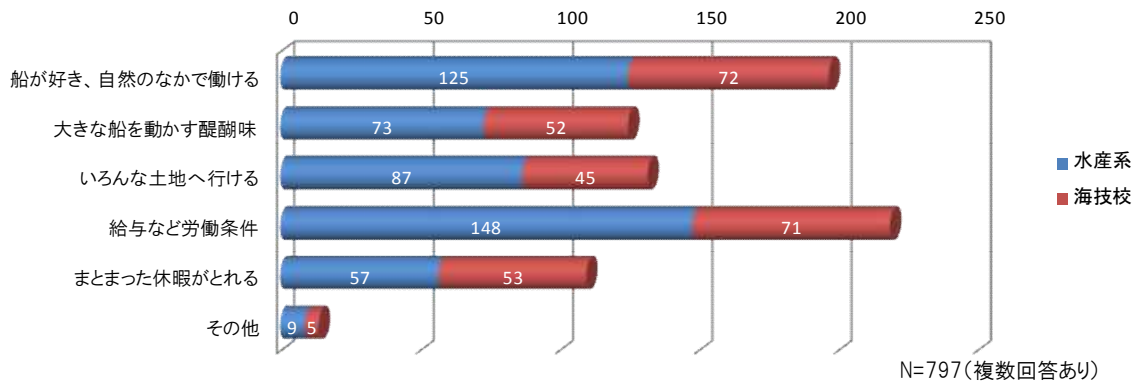




- 入学時点で船員に魅力・興味を持つ生徒の方が、卒業後に船員を希望する割合が高い。
- 魅力・興味を持たなかつた生徒についても、海上技術学校では88%が船員を希望しているのに対し、水産系高校では43%と、陸上職希望及び未定の割合が高い。

#### ④ 魅力・興味の内容

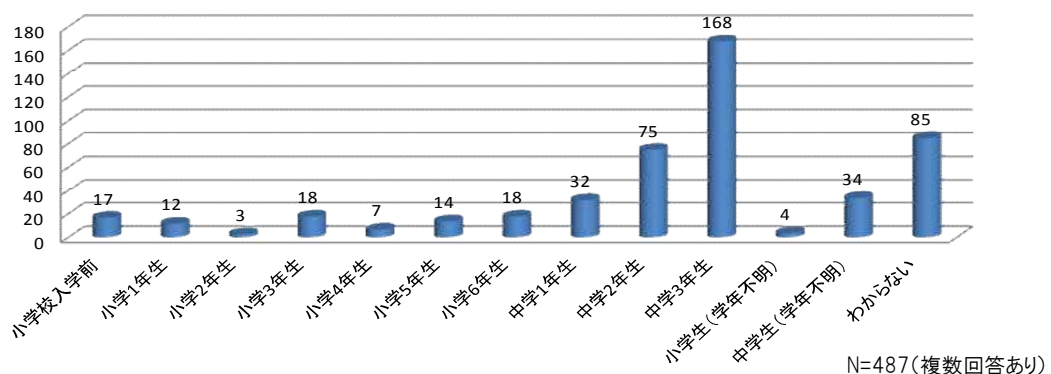
魅力・興味の内容(全体)



- 水産系高校生では、「給与など労働条件」が一番多いが、海上技術学校生では、「船が好きで、自然の中で働ける」が一番多い。全体でも、この2つが魅力・興味の大きな柱。
- その他の意見としては、「海が好き」7人、「親が漁師」、「漁師になりたい」等

#### ⑤ 魅力・興味をもった時期(学年別)

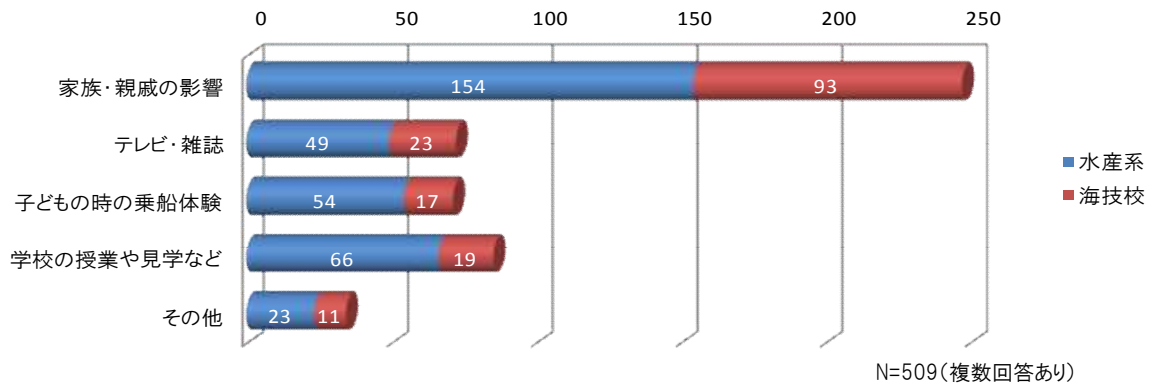
魅力・興味をもった時期



- 3-③「イベント参加時期」と同じく中学3年生が最も高く、中学校入学後からの急上昇は顕著。
- 小学生前、小学生期においては、低水準ながらほぼ横並びで推移。

⑥ 魅力・興味を持ったきっかけ

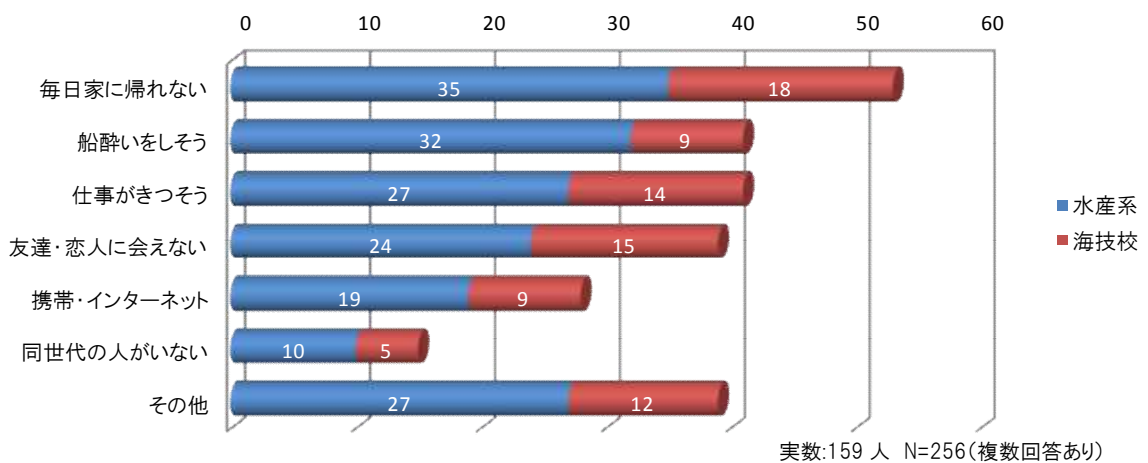
魅力・興味を持ったきっかけ



- 船員に魅力・興味を持つきっかけとして、「家族・親戚の影響」が際立って多い。
- 次に「学校の授業や見学」、「子どもの時の乗船体験」、「テレビ雑誌」と続く。
- その他としては、「先輩や友人知人から話を聞いて」7人、「船が好き」4人等、

⑦ 魅力・興味を感じない生徒の理由(学校別)

魅力・興味を感じない理由



- 「毎日家に帰れない」ほか、船員職業に対する基本的情報や知識不足のまま入学している生徒がかなりの数に上がることが判明。
- その他としては、「船員や学校のことを知らなかった」11人、「魅力・興味がなかった」10人、「造船や機械系の仕事をしたかった」3人など。

## 船員職業に関する意識調査

## 【アンケート調査のお願い】

平成 26 年 9 月

周囲を海に囲まれている日本では、海運業の役割は大変重要です。

しかし、現在この海運業では、若い船員の不足が大きな問題になっており、国や海運業界、船員教育機関などが連携して、若い船員の確保に向けて取り組みを行っています。

海上技術学校や水産系高校に入学された皆さんは、将来、船員など海上での職種をめざして本校に入学されたと思います。今後の取り組みの参考とさせていただきますので、皆さんのご意見をお聞かせください。

九州海事産業次世代人材育成推進協議会

問1. 貴方のことを教えて下さい。(選択の質問については、該当する番号に○を付けて下さい。以下同じです。)

・学 年 \_\_\_\_\_ 年生 ・学 科(コース) \_\_\_\_\_

・年 齢 \_\_\_\_\_ 才 ・性 別 ① 男 ② 女

・出身地 \_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 市・町・村

・家族・親戚に船員の方がいますか。

① います ② いません ③ わからない

・本校卒業後の進路について

① 船員を希望( ① 外航 ② 内航 ③ 漁船 ④ その他 )

② 陸上職を希望(具体的に: \_\_\_\_\_ )

③ まだ決めていない。

問2. 本校入学前に、造船所や港の施設の見学会、体験乗船などのイベントに参加したことがありますか。

① ある ② ない ③ わからない

問3. 問2で「ある」と答えた方、参加したのはいつごろですか。

① 小学生( ・1年生 ・2年生 ・3年生 ・4年生 ・5年生 ・6年生 )

② 中学生( ・1年生 ・2年生 ・3年生 ) ③ 小学校入学前 ④ わからない

問4. 問2で「ある」と答えた方、どのような形で参加しましたか。

① 学校での社会科見学で ② 修学旅行などの旅先で

③ 家族との行楽で ④ 地域でのイベントに参加して

⑤ その他( \_\_\_\_\_ )

問5. 問2で「ある」と答えた方、見学した施設などを教えてください(複数可)

① フェリーなどの体験乗船 ② 造船所 ③ コンテナターミナル

④ 普通倉庫 ⑤ 冷蔵倉庫 ⑥ 巡視船

⑦ その他( \_\_\_\_\_ )

## 【アンケート様式】

問6. 問2で「ある」と答えた方、その見学や体験が本校への入学に影響しましたか。

- ① 大いに影響した
- ② 多少は影響した
- ③ 全く影響していない
- ④ わからない

問7. 貴方が本校への入学を決めた直接の動機を教えてください。

- ① 自分の意志で決めた
- ② 先生の勧めで決めた
- ③ 家族・親戚の勧めで決めた
- ④ 先輩・友人の勧めで決めた
- ⑤ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問8. 本校のことはどのようにして知りましたか。

- ① 学校の進路指導で知った
- ② 自らインターネットで調べて知った
- ③ 家族・親戚から知った
- ④ イベント等に参加して知った
- ⑤ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問9. 本校に進学を決めたときに船員という職業に魅力や興味がありましたか。

- ① とてもあった
- ② 多少はあった
- ③ あまりなかった
- ④ 全くなかった

問10. 問9で①②と答えた方、船員のどこに魅力や興味を感じましたか。(2つ選んで下さい)

- ① 船が好きで、自然のなかで働けること
- ② 大きな船を動かすという仕事の醍醐味
- ③ いろんな土地へ行ける
- ④ 給与など労働条件が優遇されている
- ⑤ まとまった休暇が取れる
- ⑥ その他( \_\_\_\_\_ )

問11. 問9で①②と答えた方、船員という職業に魅力や興味を持ったのはいつ頃ですか。

- ① 小学生( ・1年生 ・2年生 ・3年生 ・4年生 ・5年生 ・6年生)
- ② 中学生( ・1年生 ・2年生 ・3年生)
- ③ 小学校入学前
- ④ わからない

問12. 問9で①②と答えた方、船員という職業に魅力や興味を持つきっかけは何ですか。

- ① 家族・親戚の影響
- ② テレビ番組や雑誌などを通じて
- ③ 子供の時の乗船経験など
- ④ 学校の授業や見学会などのイベントを通じて
- ⑤ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問13. 問9で③④と答えた方、魅力や興味を感じない理由を教えてください。(複数回答可)

- ① 毎日家に帰れない
- ② 船酔いをしそう
- ③ 仕事がつきそう
- ④ 友達や恋人となかなか会えない
- ⑤ 携帯電話やインターネットが繋がらない
- ⑥ 職場に同世代の人がいなさそう
- ⑦ その他(具体的に \_\_\_\_\_)

ご協力有り難うございました。